

1 空き教室を利用した地域コミュニティづくりについて

ただいまの平井^{あつのり}敦規議員のご質問にお答え申し上げます。

空き教室を利用した地域コミュニティづくりについてであります
が、全国的に高齢化社会が進む中、本市においても例外ではなく、平成
22年に行われた国勢調査によれば、沼田市総世帯数
1万9,127世帯中、一人暮らしの高齢者の世帯数（高齢単身世帯
数）は、1,982世帯で全体の10.4%と群馬県平均8.3%、
全国平均9.2%を上回っている状況にあります。

一方、学校では、児童・生徒の皆さんが国語や英語などの学力を身
につけるだけでなく、様々な集団生活の中から生きる力を育み、健や
かに成長するために、家庭や地域の方々と連携し、ご協力をいただき
ながら教育活動を進めています。例えば、「沼田大好きふるさと学習」
では、総合的な学習や特別活動などにおいて、地域の高齢者の方など
を講師として農作物を作ったり、地域の伝統行事に関わる習慣を教え

てもらうなど地域の人たちとの交流を図っています。

学校は、地域の中心に位置し、地域住民にとって身近な公共施設であり、そこに住む人々が長年愛着を寄せてきた場所であります。平井議員ご提案のとおり、学校施設を一人暮らしの高齢者をはじめ、地域住民のコミュニティの拠点として、高齢者のふれあいや生きがいがいづくりの場、また、子どもたちとの世代間交流の場として有効活用することとは大変重要なことと考えます。

今後は、学校教育に支障がない範囲において、地域の実情や需要に応じ、関係部局等と連携を図りながら検討していきたいと考えております。

以上申し上げます。平井敦規^{あつのり}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。